

Intranuclear Cascade Model for Deuteron- and Alpha-induced Reactions at Intermediate Energies

モニラ, ジャナツル, コブラ

<https://doi.org/10.15017/1931898>

出版情報 : 九州大学, 2017, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	Monira Jannatul Kobra			
論文名	Intranuclear Cascade Model for Deuteron- and Alpha-induced Reactions at Intermediate Energies (中間エネルギー重陽子および α 誘起反応への核内カスケード模型の拡張)			
論文調査委員	主査	九州大学	准教授	魚住 裕介
	副査	九州大学	准教授	前畑 京介
	副査	九州大学大学院理学研究院	教授	八尋 正信

論文審査の結果の要旨

本研究は、中間エネルギー領域の重陽子および α 粒子による原子核反応においてクラスターユニットの重ね合わせ状態が重要な役割を担う可能性に着目して、これを現象論的に記述する手法を考案し、核内カスケード模型に組み込むと共に数多くの原子核反応断面積実験値と比較し、模型計算による実験値再現性を大幅に向上させたものであり、得られた成果は原子核工学上重要な知見を得たものとして価値有る業績と認める。

よって、博士(工学)の学位に値すると認める。